事業所名：グループホーム妙水苑

作成日：令和4年　10月　17日

2　目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	利用者様・家族様の介護ニーズが多様化している。それらに柔軟に対応していくため、さらなる認知症ケアの技術向上が必要である。	認知症ケアの専門性の強化と積極的な実践。	①事例検討の継続的取り組み。取り組み結果についての振り返りと共有。（年6回） ②実践者研修、リーダー研修への参加推進。前回受講者が受講者に助言を行うことで助言力を養成。（各年1回） ③同法人内グループホームとの交換研修の実施。相互の事例提供によるケア検討による客観的視点観察力の養成。（年3回）	12か月
2	12	新規採用職員が減少してる。離職者0の取り組み、及び、職員個人個人の働き方のニーズに積極的に応じながら、幅広い人材を継続的に確保していく必要がある。	働きやすい職場環境づくり。離職者数0の取り組み。	①定期面談による働き方の要望調査。能力だけでなく個人的事情も含めた人員配置の見直し。（年2回及び随時） ②リフレッシュ休暇取得の推進。（随時） ③地域住民等への積極的な介護職員・ボランティア募集。広報誌の活用によるPR。（年2回）	12か月
3	33	利用者様の重度化、及び、終末期のあり方のニーズが多様化している。医療依存度の高い利用者様へ十分に対応していくため、今後、さらなる協力病院等との連携が重要になる。	利用者様、ご家族の終末期のあり方や支援についての満足度向上。	①利用者様、ご家族との看取り意向確認のための面談の実施。不安や要望の聞き取り。（随時） ②医師、看護師との連携強化。面談記録の共有。利用者様、ご家族を含め対応方法を段階的に検討。（随時） ③看取り勉強会の継続的取り組み。「強化テーマ…個人個人の死生観の違いについての理解」（年1回、及び随時）	12か月
4					か月
5					か月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。